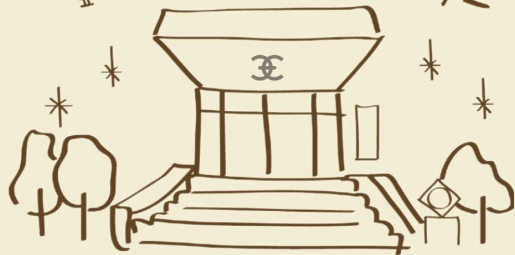


笠岡市市民活動支援センター



はじめに

笠岡市市民活動支援センターは、今年度から笠岡市による新たな運営体制となり、中間支援組織としての機能の向上や、多様な主体に求められる支援の提供、活動のフォローを行うことを目指しています。

今回のセンター通信では、新体制となったセンターの今年度の活動と、12月4日(日)開催の「第1回かさおか☆まちづくりフォーラム」の様子をお伝えします。

運営 会議

運営協議会

新体制となったセンターの運営について話し合う場として、「運営協議会」を立ち上げました。運営協議会委員は登録団体から公募し、さまざまな分野で活躍する6名の方に委員となっていただきました。会議ではこれからのセンターの取組や方向性について協議し、さらに、登録団体へのアンケート実施による市民活動団体の現状把握などにも取り組んできました。

なお、委員には「第1回かさおか☆まちづくりフォーラム」のパネラーとしてもご登壇いただき、センターのこれからのについてディスカッションしていただきました。詳しくは裏面をご覧ください。



活動 1

まちづくり協議会ヒアリング

これまで、センターは登録団体を主として支援を行ってききましたが、今後は市内24地区のまちづくり協議会への支援にも取り組んでいきます。その第一歩として、6月より各まちづくり協議会へ順次訪問し、現在の活動や地域の課題についてお話を伺いました。

防災や高齢者の生活支援、イノシシ対策、担い手不足などの地域ごとにさまざまな課題があり、今後は登録団体とのまちづくり協議会との連携や、情報の提供、講座の開催などの支援をすすめていきたいと思えます。

ヒアリングにご協力いただいた皆さまありがとうございました。



活動 2

センター主催「広報紙・チラシの作り方教室」

9月にセンター主催講座として、「広報紙・チラシの作り方教室」を開催しました。今回は、まちづくり協議会で広報を担当している4名の方にご参加いただき、広報紙やチラシを簡単に作成できる無料ソフト「キャンバ」の使い方をレクチャーしました。みなさん初めて使うソフトでしたが、写真や文字の加工を学び、チラシを作り上げることができました。

今後もセンター主催講座を開催しますので、ご参加お待ちしております。



講座のお知らせ

「今から始めるSNS活用セミナー基礎講座」を開催します。詳細は右のQRコードから！



その他、SNSでの情報発信、笠岡高校の地域学への協力、各団体相談対応など行いました。日々の取組の様子や講座などの情報は、SNSでも紹介・周知しますのでぜひチェックしてください！



／ SNSのフォローをお願いします！ ／



笠岡市市民活動支援センター

〒714-0087 笠岡市六番町2-5
TEL 0865-63-4682 FAX 0865-63-4660
MAIL center634682@gmail.com

第1回かさおか☆まちづくりフォーラム2022 ～つながろう！つなげよう！笠岡まちづくり～

5年後の私たちのために市民活動支援センターには 「どんな役割」が必要とされるのか

12月4日（日）に笠岡市民会館で「第1回かさおか☆まちづくりフォーラム」を開催し、全体を通しのべ160名の方にご参加いただきました。

◆第1部パネルディスカッション「5年後をみずえた初年度の意見交換会～中間支援組織が担うこれからの役割～」

登壇者（敬称略）

コーディネーター：沖村舞子

パネラー：坂本亮平 寺田伊織 西山博行
玉置裕美 宇根山竜二 山名崇智

「こんなセンターになったらいいな」というテーマから始まったディスカッションでは、「団体をつなぐ役割をしてくれる」という意見に対し、実際にセンターへの相談から団体連携が実現した例として、笠岡青年会議所の山名さんから地元PR動画制作時のエピソードが紹介されました。ぼっけーまち会議の玉置さん、アマチュア無線ボランティアズの宇根山さんからも、お互いの団体が連携し、中学生の地域学に協力した際に感じた「横のつながり」の大切さから、「センターが多様な団体同士をつなげていくことでみんなで協力し、交流したい」と意見が出ました。



また、「もっと気軽に立ち寄れる場にしたい」という意見では、教育DMOの寺田さんから「高校生がふらっとよれる自習室や放課後の活動拠点としての活用」などのアイデアが出ましたが、まず中高生がセンターを知らない現状があるとの話があがりました。参加者へも「センターのSNSをフォローしていますか？」と質問をしたところ、挙手をした人は少数で、中高生のみならず、市民に向けてもセンターの情報発信が課題であることが分かりました。

情報サイトを運営する西山さんは、『子どもたちに「笠岡は面白い、将来笠岡にいたい」と思ってもらえるようなまちづくりや、団体同士がつながるためにも、各団体の活動を可視化し、情報を発信することが必要。』と話し、今後センターで情報を一つに集約して発信するような仕組みづくりを提案しました。

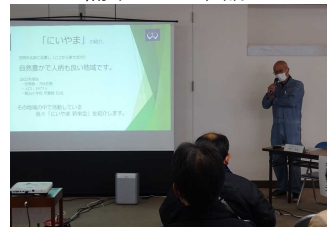
最後に、運営協議会会長である坂本さんは「将来子どもが減少する中で地域を維持するためには、市民団体とまちづくり協議会とで協力し、つながりあえる仕組みを作っていくしかない。」

とし、センターのアドバイザーである沖村さんは「それぞれの役割を明確にした中で目指すビジョンを共有し、同じ場所を目指して動くことが大切。一つずつアクションを変えて、みんなで少しずつ進みましょう。」とコメントしました。

◆第2部勉強会「登録団体が本音で語る／組織・広報・資金」

第2部はセンター登録団体である「にいやま新栄会」畝山弘児さん、「笠岡青年会議所」坂本貴之さんにご登壇いただき、組織作り、広報活動、資金などについて実例を交えた発表を行いました。

にいやま新栄会は「溢れんばかりの新山愛で新山を元気にする」ことを目的に、主に景観維持活動や、そうめん流し、防災キャンプ、鉄道記念館イルミネーションなど幅広い世代に向けた活動を行っています。活動資金の一部として「志縁型団体協働のまちづくり事業補助金」を活用しており、センターに団体登録をしたのも補助金の申請がきっかけだったということです。担い手の確保については、「直接声をかけ、まずは新山を好きになってもらえるよう、新山のことをきちんと伝えることから始める。」とのことで、今後は情報発信や他団体との関わりづくりをしていきたいそうです。



笠岡青年会議所は「世のため人のために無条件で奉仕する志」をもって活動しており、昨年度は地域の人の笑顔を届けることを目的に制作したPR動画「カムカムかさおか」が話題になりました。その他に、小学生へサッカーを教えたり、ファミリーウォキングの手伝い、中学生向けの将来を考えるイベントも開催。会議では「ロバート議事法」を取り入れトップダウンではなく多数決で事業を決定したり、円滑に議論できるようにしているとのことです。活動資金は会費であるため、活動する上ではメンバーに



その対価として、やりがいを感じてもらえることを大切にしているとお話されました。

★まちづくりフォーラムの様子はYouTubeでアーカイブ配信しています。右QRコードか、

笠岡 まちづくりフォーラム で検索！

